あたたかい子　ひかる子　げんきな子

はばたけ 津南小

令和８年９月４日
津南小学校だより

９月号

HP 二次元コード

一期の成果に積み上げる二期・三期に

統合に向けた校舎改修工事も予定通り進み、綺麗になった教室に子どもたちの元気な声が戻ってきました。大きな事故なく、無事に夏休みを過ごせたことや、PTA の皆様のご尽力によりプール開放が行われたことを大変嬉しく思っています。この夏休み期間中、子どもたち一人一人が決まりを守って行動してくれたこと、保護者や家族・地域の皆様が見守ってくださったことに心より感謝申し上げます。

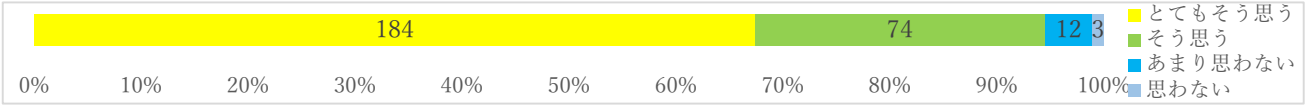
Ⅱ期～Ⅲ期は、Ⅰ期の成果の上に新たな成果を積み上げていく学期となります。みゆき学習発表会や校内マラソン大会など、様々な行事が予定されています。一人一人が自分の願いやめあてを持って挑戦し、失敗しても粘り強く取り組む、学びの過程が大切です。子どもたちの可能性を最大限に引き出せるように職員一丸となって支援していきます。Ⅱ期～Ⅲ期もご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

令和８年度 前期 学校評価　結果と今後の改善の方向

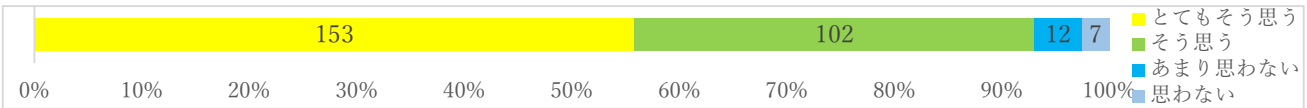
Ⅰ期末に保護者の皆様からアンケートにご協力いただきありがとうございました。学校では今年度のグランドデザインに照らして「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」そして「学校運営」の観点で評価・検討を行い、子どもたちの成長した姿と今後の課題を確認しました。また、改善に向けた方策を協議しました。その一端を保護者・地域の皆様にご報告いたします。

確かな学力（知育）

①　教師や友達の話を聞いて、授業に参加できたと感じている子ども
　　児童アンケート（人数）→⑥先生や友達の話をよく聞いて授業に参加できましたか？



②授業で学習したことを理解できたと感じている子ども
　　児童アンケート（人数）→④授業で学習したことは、わかりましたか？



③国語・算数のワークテストの点数が全国平均（期待得点の平均点）を上回る子ども
　　７３．６％

＜前期の成果と課題＞

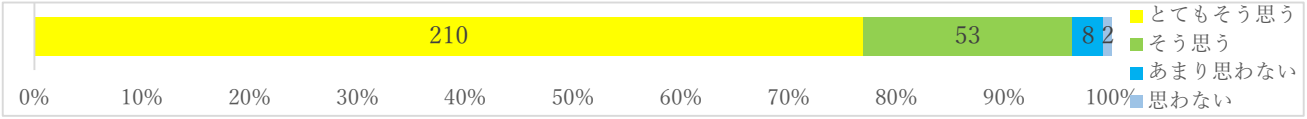
○学年間で授業公開に向けて教材研究と互いに授業を参観し合うことで授業改善を図った。

○地域の協力者と連携し生活科や総合学習に関わる職員研修を行ったことで、職員の意識が高まり、児童の願いを生かせるような学習活動を展開し、ＰＤＣＡサイクルよるカリキュラムの改善に努めた。
○チェックカードを積極的に活用することで、教室や学習環境の整備、学習ルールの徹底につながっている。各担任が選択した項目だけでなく、授業改善を目指した全校共通項目の設定などを検討したい。
▲「授業が分かる」と感じている児童の割合は多いが、国語と算数のワークテストの結果は児童が思っているよりも授業内容を理解できていない実態がある。児童自身の感覚と結果の差を埋める手立てや「分からない」と言えない児童への対応を検討する。
▲アンダーアチーバー（知能水準から予想される学力値より結果が低い子）を把握し、学びタイムでの学習内容を検討、工夫して補習の時間にしたり、授業でもＮＲＴアシストシートを活用したりする等の学力向上対策に努める。

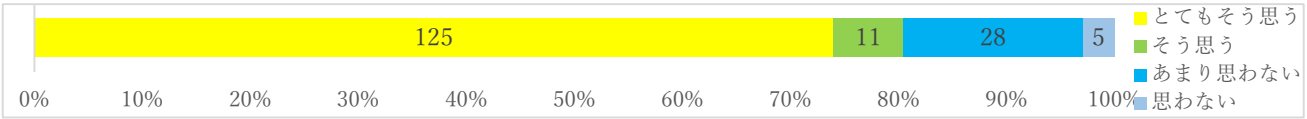
＜Ⅱ期以降に大切にするポイント＞
○全校で共通した『聞き方あいうえお』【相手を見て、一生懸命、うなずき、笑顔で、終わりまで聞く】取組を徹底し、授業で教師と子どもが意見を交わしたり、ペアや少人数で話し合ったりして、互いの考えを聞き合い、自分の考えを深める授業を行います。
○テストやNRT（学力検査）の結果から、苦手な傾向を把握し、学びタイムや家庭学習で補充、繰り返し学習し、基礎的基本的な学習の定着を目指します。
○生活科、総合的な学習時間に子どもたちの願いを生かした活動ができるよう、PDCAサイクルで次の活動に活かし、地域や保護者と連携して活動します。

豊かな心（徳育）

①　学校が楽しいと感じる子ども
　　児童アンケート（人数）→①学校でみんなと学習したり、遊んだりするのが楽しい。



②進んであいさつできる子ども
　　児童アンケート（人数）→②友達や先生、地域の方に進んであいさつをしていいますか？



＜前期の成果と課題＞
○学校行事、校外学習、学級活動等でめあてを立て、振り返る活動を行った。自己の頑張りや成長に気付けるようにカード等を工夫し、振り返ったことが次の活動へつながるような指導をしていく。
○学級で様々な行事や学習活動で「ぽかぽかカード」を書く時間を確保した。友達の良さや頑張り、親切にしてもらったことへの感謝の気持ちをカードに書いて伝え、居心地の良い学校・学級を目指して取り組んだ。今後、書いてもらったカードから自分の良さに気付けるように働きかけをしていく。
▲児童アンケート「学校が楽しい」と感じる児童の割合は 95.6％と高かったが、ＷＥＢＱＵによる学級満足群の割合は 64.7％だった。Ⅱ期以降の学級づくりで各学級の分析シートを活用し、以下の２つのことを取り組む。 ①話を最後まで聞く学級づくり【「聞き方あいうえお」を全校で徹底／子ども同士、教師と子どものコミュニケーションを大切にする／大人が聞き手の手本となる】 ②認め合い、支え合う学級づくり【「ぽかぽかカード」で認め合いを可視化／意図的なペア、グループ活動の設定／振り返り交流】
▲朝、各教室に入る時の「おはようございます」のあいさつは、よくなっている部分もあるが、「だれにでも、自分から進んであいさつ」は、個人差が見られる。毎月 10 日のあいさつの日に向けて事前と事後の指導をきちんと行っている学級は少なかった。

＜Ⅱ期以降に大切にするポイント＞

○全校で「生活目標」を基に、各学年・学級で自分たちの学校生活を定期的に振り返り、具体的にめざす姿や取組を話し合う時間を設けます。自分たちの学級・学年・学校が楽しく安心して過ごせるような働きかけを行います。

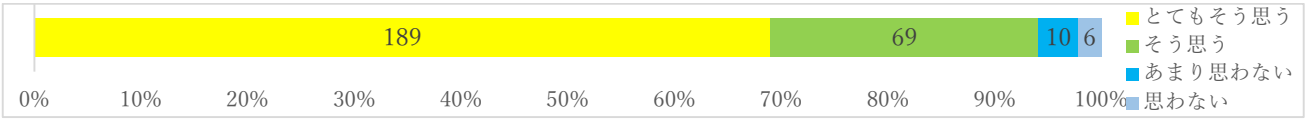
○行事や学習活動の節目に、振り返り活動として教室に置いてある「ぽかぽかカード」に友達のよさやがんばりを認め合う言葉や親切にしてもらったことへの感謝の気持ちを書いて伝え合う活動を積極的に行い、良好な人間関係の構築に努めてまいります。

○毎月 10 日のあいさつ運動の前後にあいさつについて考え、振り返る時間を設け、自分たちのあいさつの良かった点や課題を見つけて取り組むことで、よりよいものに改善していきます。

健やかな体（体育）

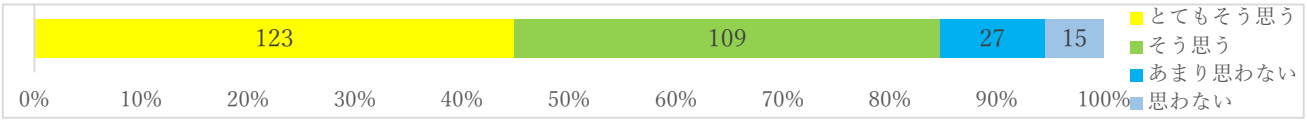
① 自分のめあてを立てて進んで運動に取り組む子ども

児童アンケート（人数）→⑧授業中や体育の行事に自分で決めた目標に向かって進んで運動したり、体を動かして遊んだりしていますか？



②メディアを上手に使うためにめあてを決めて守る子ども

児童アンケート（人数）→⑩メディアを上手に使うためにめあてを決めたり、ルールを守ったりしていますか？



＜前期の成果と課題＞

○フリー参観日に外部講師を招きメディア接触コントロールに関する親子学習会を実施した。家庭でのメディア利用状況を親子で振り返り、課題意識をもつよい機会となった。

▲低・中・高学年の発達段階に応じた学習カードを作成・活用できるようにして、子どもたちが自分なりのめあてをもち、意欲的に運動に取り組むことができるように工夫していく。

▲ＴＨＣカード取組期間やメディア接触コントロールに関する講話の前後では意識が高まったが、成果が継続しなかった。自分の生活を振り返る機会を増やすなど定期的に取り組み、今後の生活に生かせるようにする。

＜Ⅱ期以降に大切にするポイント＞

・低・中・高学年の発達段階に応じた学習カードを工夫して子ども自らめあてを持って運動に取り組めるようにしていきます。

・2・4・6年生は、7月のフリー参観に親子学習会を実施し、保護者の皆様にもメディアコントロールの講話を共有できるようにしました。次年度も同様に偶数学年で実施し、2年に1度メディアコントロールについて親子で学習する機会を設けていきます。THC カードの活用にあたっては、子どもたちが家庭での約束等を基に「自分のルール」を設定できるような事前指導を行います。カード終了後も習慣化が図れるよう継続的に働きかけ、学校だけでなく家庭とも連携してメディア利用のセルフコントロールの力（自己管理能力）を育てていきます。

保護者アンケートの結果から

以下に自由記述で寄せられたご意見を抜粋して紹介いたします。

＜学校の教育全体に対するご意見・ご要望＞

○６年生が保育園の年長の時は、コロナで２か月保育園が休園し、保育園最後の運動会も発表会も保護者非公開（後日 DVD 購入）でした。小学校最後の行事は、全力で楽しめそうです。Ｔシャツプロジェクトは、とても素敵な企画だったと思います。

◆保護者のために特別な授業にしなくていいので、１限から見るのは難しいですか。また毎回の参観をフリー参観にはできませんか。7 月の参観がフリーでも、最後に保護者の会があると、半日しか休みが取れないのでどうしても５限にみるしかないです。

◆体操着の名前について、来年度の統合を機会に古い慣習は新しくできたらいいと思います。学校で付ける名札より体操着の方が保護者の負担が大きいです。

→ 今年度は、3小学校統合に向けた全校集合学習や各学年部での合同交流学習の時間帯は、お子さんの学習の様子を参観できるようになっております。4月に配布したお便りをご確認いただき、学校での子どもたちの様子を見に来ていただけると励みになります。また、体操着の名札についても統合に関わる PTA 部会で話題にあげて、3校で検討してまいります。

◆スクールバスなのに定期券のようなものか必要なのでしょうか。南越後観光バスの子はいるのかもしれませんが、スクールバスの子は必要ないと思います。

→ スクールバスの運行に関するご意見・ご要望が他にもありました。バスの配車計画、運行時間や運行経路については、小学校と中学校間の調整も必要となります。町教育委員会に報告、相談して対応を検討してまいります。

◆急に学童利用をしなくなる日もあります。アプリで申請の取り消しを忘れていることがあります。連絡帳に書いてあること、本人に伝えてあることに基づいて対応をお願いしたいです。お電話のお手間も申し訳ないので…いつもすみません。

→ 学童に関するご意見・ご要望が他にもありました。町教育委員会にも報告、相談して対応を検討してまいります。総合センターから校内へ学童が移設されたことで、今まで以上に情報共有がしやすくなり、学校職員と学童指導員間でも情報交換を適宜行い、子どもたちの支援をしております。また、学童利用アプリ「コドモン」の申請状況は、学校でも昼12：00頃に担任が確認して、できる限りの対応をしております。急な変更や下校に関わっての確認事項があれば、遠慮なく電話連絡でお知らせください。

＜教育活動・教育活動の発信についてのご意見・ご要望＞

◆学年だよりがホームページに載っていると後から確認できて助かっています。学年によっては全部のお便りをアップしていないので、ぜひ全てをアップして頂けるとありがたいです。持ち物や提出物が多く、混乱します。全ては難しいと思いますが、学年だよりもＨ＆Ｓで配信してほしいです。

→ 今年度は、バス運行表を「Home＆School」で配信し、下校時刻を全家庭で確認できるようにしています。学年だよりも同様に、「Home＆School」を活用して、学校からの連絡やお願い、子どもたちの学校での様子をデジタルデータで、登録した保護者の皆様に直接発信いたします。夏休み明けから前期（10 月 9 日）までは、紙とデジタルデータの両方で学年だよりをお届けします。後期（10 月 13 日）からは「Home＆School」のみになりますが、今までと同様に紙で学年だよりの配布を希望される方は、担任にお知らせください。

＝＝

以上の学校評価をもとに、Ⅱ期およびⅢ期の教育活動に取り組んでいきます。

保護者や地域の皆様はこのポイントがお子さんの成長に生かされていたかをぜひご判断いただき後期の評価を行っていただければ幸いです。今後とも当校の学校運営により一層のご理解ご協力をお願いいたします。